

周辺の散策には、ターミナルの事務所で貸し出しを行っているレンタサイクルが便利。土庄ほど大きな町ではないものの、食事や買い出しには困らないはずだ。また、時間に余裕があるならば、散策がてらに坂手港方面まで足を延ばすのもいい。しょうゆを作る工場の黒壁が、通り沿いに連なっている様子は一見の価値があるだろう。以前は400軒以上もあったという小豆島の名産品の一つで、昔ながらの方法で製造している工場がいくつも残っている。



草壁から坂手方面へ歩いていくと、名産のしょうゆ工場の古い建物が連なっている。直売しているところもあるので、立ち寄ってみるのがおすすめ



左：5代目当主として修行中の藤井寿美子さんと、ご主人の智幸さん。国の登録文化財に指定されている蔵や母屋のなかで、いろいろな話を聞かせてくださった

右：金両醤油では、まずは麴を杉樽で数年間熟成させるという昔ながらの方法で、しょうゆづくりに取り組んでいる。蔵や樽は130年以上も使われているもの